浜松
南高新聞

発行所
県立浜松南高校新聞部
静岡県浜松市米津町
TEL(053)441-1486(代)
FAX(053)442-0148

印刷
富士印刷株式会社

校訓
最善を尽くそう

本年度卒業生座談会

今年で、卒業生による座談会も五回目となった。今回は四人の卒業生が南高での三年間の思い出などを語って下さった。自分の体験に基づいた意見や後輩へのアドバイスの中に見える、これからの南高への期待とは……。

なみの高か、みなみ高か…

宅八郎呼びたかった ―波涛祭、研修旅行

――はじめに南高で一番印象に残った思い出を聞かせて下さい。

名倉宏美(31)　やっぱり文化祭の準備です。

石田英之(36)　一年の時は文化展で、広島の原爆のことについてやって、その飾りの鶴を折った。

禿　昌浩(35)　一人10羽とかね。しまいには分担ができたよね。

山内真琴(36)　あ、そういえば私も折った。授業中にも。

名倉　いけない、いけない。でも文化祭って、やっぱり準備の方が思い出に残るよね。本番はあたふたしているうちに過ぎちゃって。私は演劇で体育館に入りびたりだったし。

山内　文化祭終わった後、壊せーってみんなでぐちゃぐちゃに壊してたら、先生がやめろーって青くなって止めた。暴動が起こったと勘違いしたらしくて……。

禿　二年の時はオカマの格好してた。着物着て、それで、土曜日爪にマニュキュアつけて、とるの忘れたまま次の日の部活で剣道の試合に行ってしまった。

名倉　文化祭は生徒会執行部としても大変だった。私はHR展とかの担当だったの。で、最初は適当にやればいいと思ってたのね。ただ、危険じゃなければ。真っ暗にするとかピアノ線張りめぐらすとか……でもそれでは通らなかった。万が一のための規制が多いと思った。

波涛祭にて　H4年6月8日(土)

山内　そうやって頑張っても他校からあんまり人が来ないんだよね。やっぱり僻地だからかな。

禿　他の学校と日が重なったり。

名倉　何か変わったことやらないと人はなかなか来ないと思う。

石田　宅八郎、呼びたかったな。

――研修旅行での自由行動はどうでしたか。

山内　あれは成功だったね。

名倉　ちゃんと全部自分達で決めさせてもらえかなり信用されてたと思う。

石田　僕のせいで僕らは失敗だった。

禿　東北に行ったんだよね。それで、夜、みやげ物屋に行ったら、店の周りを不良が囲んでて。追いかけられた友達もいた。

山内　私達もガイドブックにファッションタウンっていうのが載ってて、洋服屋とかがあると思ってたの。そしたらそれはただおしゃれな建物が多くある街って意味で、あったのはちょっとおしゃれなマンションやオフィスだけ。そこでショッピングしようと思って三時間ぐらいとっといたのに、五分で帰った。

名倉　あれならお寺回った方がよかったよね。

石田　でもあの研修旅行のシステムはよかったね。信用されてて。だから問題起こした人もいなかったし。

禿　やっぱり信用されていると責任感じるね。

名倉　旅行といえば、一年の時に山の村もあったよね。

山内　建物もけっこうおしゃれで、夜遅くなってくると電気消して、暖炉にしたりして。

禿　雰囲気はよかった。でも名倉さんのクラスは山も村まで来て、国語の特別講義があったって聞いたけど。

石田　随分、勉強熱心なクラスだったんだね。

変革なくして明日のみなみ高はない ―生徒会、その他

――石田先輩、名倉先輩は生徒会役員でしたよね。

名倉　この学校って生徒会への関心低いよね。生徒会行事で盛り上がるのって文化祭以外にないような気がする。「体育大会だって本当にシラーって感じで。北高は前日に泊まり込み状態で飾りつけとかするらしいのに。

石田　別の意味で執念深くないよね。さらっとしてて。一部だけ盛り上がったり。

名倉　文句は言うけど参加しない人が多いよね。生徒総会でも、「えー、又やるのーつまらん」って言ってるだけだったり。

石田　意見も出してくれない。

名倉　意見が反映されないって言うけど、だったらもっと意見出してほしい。執行部が敬遠されている所がある。

山内　投票でも、変わった名前の方に入れちゃうとか。

禿　だったら僕、なれそう(笑)

名倉　執行部の活動に反対意見持ってても、それを堂々と言える人がいないね。みんなでかたまっていやよね、とは言うけど。それで生徒会が矢面に立たされちゃって攻撃されるだけ。

石田　生徒会は先生の手下みたいに思われてね。本当は先生とけんかざたになりそうになるまで話し合っているのに。

名倉宏美(31)

例えば新しい計画でも、できないって思ったら簡単にあきらめちゃう人が多いけど、一回思い切ってやってみれば、次からはうまくいくことって多いんじゃないかな。

名倉　ただ感じたままにいいとかいやとか言うんじゃなくて、もっと真剣に生徒会活動を考えるべきだよね。

――南高で改善すべき所は？

山内　購買かな。目立たないし、品も悪いから誰も買いに来なくなっちゃう。スリッパ屋みたい。

名倉　確かに必要ない物や型が古い物が多いね。商業科の伝票とか、色がはげているノートとか。そんなのわざわざ購買で買うよりもコンビニで買った方がいいもんね。

石田　売れなくなった物はどんどんバーゲンで売って、みんなが買いに来るような、新しい物をもっと入れるべきだよね。

対吉田高戦　応援合戦
H4年7月19日(日)

コールド勝ちした対吉田高戦
H4年7月19日(日)

名倉　でもパン注はいいよね。缶ジュースぐらいは置いてほしかったけど。

禿　学校に一時期あったアップルティーって知ってる？紅茶なのにりんごのにおいがするだけなの(笑)。ゆるせんかった。

石田　バナナオーレが消えたね。

名倉　私、あれ、好きだったのに。

禿　パン注って甘いのが多い。パン三つ買ってジュース飲むともう気持ち悪くなっちゃう。

石田　パン注の中で辛党の人向けのってソーセージとサンドイッチとカレーパンぐらい？

山内　でもサンドイッチも当たりハズレがあるよね。ツナ頼んだらレタスばっかかって時があったり。

山内真琴(36)

名倉　私、パン注忘れたことあったの。みんなにお弁当少しずつもらったけど。購買にいぐちが出張してくれればいいのに。

石田　欲を言えば食堂がほしいくらいだね。

――印象に残っている先生は誰ですか。

名倉　小林先生が印象に残っている。みんなの前で生徒のために泣けちゃうような先生だった。君達はできるんだーって言われると本当にそうなかなって思えた。でも初めて会った時は用務員のおじさんだと思ったけど(笑)。

禿　あの先生の話は情熱的だっあね。山の村の時、巨人軍が負けたって言うのを単純にそういえば言いのに、今日、この、文明から離れた山の中で、私の持っている唯一の文明のラジオが巨人の負けを知らせる電波を伝えましたって。何話しだすかと思って身を固くしてたら、急に巨人が負けた、だって。

名倉　私が今一番興味があるのはベジータがどこまで強くなるかですっていったこともあったね。でもそれがけっこう本気に納得させられちゃう。

山内　生徒との間に壁をつくらない。何でも相談できるようなタイプの先生だった。

石田　僕は小林先生のことはよく知らないけど、南高には親しみやすい先生が多いね。

禿　ある先生は最初来た時、厳しくて反感かってたの。少しのことでもすぐ注意するし。でもその先生は本当はみんなのこと考えてくれてたの。だからその先生が受け持ちを変わったら、みんながっかり。

山内　本当にいい先生はいやなとこあってもやっぱりいいんだよ。後になって分かることなんだけどね。

――勉強面ではどうでしたか？

名倉　南高は特に国語の平均がいいね。

山内　合格するまで早朝テストやったり。

石田　あれは大変だったけど為になったね。それにテキストもたくさん作ってくれた。先生方も大変だったと思う。

石田英之(36)

名倉　テキストやテストの問題のシャレがきいてて覚えやすかった。

禿　問題集の名前が若花田、貴花田だったり、猫だまし舞の海バージョンとか、殻やぶり古文とか。

山内、南高の国語って一、二年生の時に基礎を集中的にやっておいて、三年になってやっと応用に入るって感じだよね。

名倉　そうやってずっと継続してきているから、一、二年でしっかりやっておいた人は後で楽だけど、三年になって急に応用からやろうとしてもだめだね。

石田　それは基本的にどの教科についても言えることだと思う。英語のサイドリーダーにも苦しんだ。知らない単語ばっかりで時間はかかるし。

禿　昌浩(35)

禿　月曜日の朝や土曜の小テストも効いたね。英語は二回通りやるうちに、結構覚えられた。

石田　英語の単語・熟語でも、古文の単語でも、ああいうちょっとした基礎を身につけるだけで、文がスムーズに読めるようになった。

山内　あ、この単語、テストに出た、と思ったり。

名倉　やっぱり応用よりも、まず基礎だよね。あと、授業をちゃんと受けること。今、南高はなみの高か、みなみ高かの瀬戸際なんだよね。(笑)

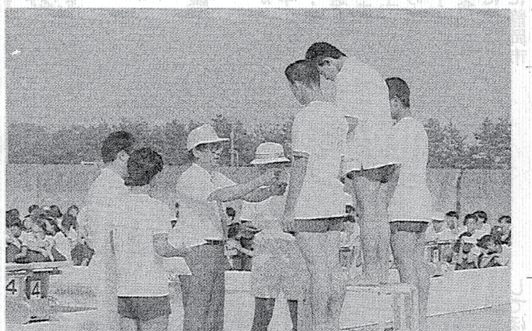
――最後に後輩に一言、お願いします。

禿　何でもいいから楽しんでほしい。

名倉　私はやっぱり「報われない努力はない」だな。何にしても自分に自信を持って努力してほしい。それに、もっといろんなことにやる気を出して南高を変えていってほしい。変革なくして明日の南高はない！

山内　こんなに世界にいっぱい人がいるのに、そのたくさんの人の中で一緒のクラスになれる確率ってすごいと思う。だからその中でできるだけたくさんの人と友達になってほしい。

石田　クラスになじんでほしい。部活や生徒会の仲間の殻に閉じ込もってクラスをただの授業受ける場所にみたいに思っている人が結構いるけど、せっかく同じクラスになれた人達なんだから、もっと仲良くした方がいいと思う。クラスの中に、その場しのぎの友人じゃなく、親友がいるといいね。


水泳大会　H4年9月4日(金)

論説

野球人気復活の切り札長嶋巨人

野球は人気のあるスポーツだ。が、年々その人気は落ちてきている。それを顕著にあらわしているのが少年マンガである。二十年前までは、野球マンガの占める割合は少年マンガ全体の約75%であったのに対して、現在は約35%になってきている。そして、それとは逆にサッカーマンガは急上昇で約30%まで上がっており、野球マンガを追い抜かんばかりの勢いだ。

テレビにおいてもそれは言えることで、テレビで放映する高校生のスポーツ=甲子園での高校野球であったが、今では正月の高校サッカーや花園でのラクビー、春の高校バレーに選抜バスケなども放映し、人気も上がってきている。また、アメフト、バスケをはじめ、世界中で行われているイベントを、衛生放送などで生中継できるようにもなっている。

マンガやテレビの影響は非常に強い。釣りのテレビを見て、やってみたくなり釣りをする、などはよくあることである。したがって、野球そのものの魅力が低下したとは必ずしも言えない。

また、ここ二十年間の日本の進歩には目を見張るものがあり、皆が以前よりも経済的にも、精神的にもゆとりができてよそ見をするようになった。メディアの発達の結果、多数の人々が、いろいろなことに興味を持ち始め、相対的に野球人気が低下したのではないだろうか。

しかし、野球が国民的スポーツとして親しまれていた時代に比べれば、皆の目が野球から離れていっているのは確かなことである。その風当りをもろに受けているのがプロ野球だ。近年、テレビの視聴率低下が叫ばれ、スポーツ新聞での扱い方も縮小されている。プロ野球界としても大いに危機感を抱いているはずだ。だが、このような状況にただ手をこまねいているわけではない。球団ではそれぞれ特長あるファンサービスを行っているし、永年抑えられてきた選手の年棒も高騰、秋にはフリーエージェント制も導入される見込だ。そして何よりも、プロ野球人気絶頂時のスーパースター、「歩く広告塔」長島茂雄の復活である。それに「スーパールーキー」松井、「眠れる大器」一茂と豪華コーチ人を引っ提げたジャイアンツは、プロ野球人気復活の大きな担い手となっている。また、プレーの質はともかくとして、昨年のような混戦になれば盛り上がることは確かだ。

ある作家によると、人間が一度に熱中できるものは多くて二つだそうだ。もちろん私達高校生の一つ目の熱中すべきことは勉強である。二つ目、これが何であるかによって日々の充実度が違ってくる。プロ野球に熱中してみるのもよいのではないだろうか。

正しいメガネでしあわせを…
メガネの吉田屋
広小路店　浜松駅前広小路通り　☎453-1188(代)
旭町店　浜松・旭町(浜松郵便局前)　☎454-0181
高台店　浜松・幸一丁目(ユニー前)　☎473-8118

購買委員会
営業時間
12:50～13:10
15:40～16:00

私にとっての旅

人を語る

皆さんの中で、海外へ行ってみたいと思う人は多いだろう。また、海外へ行ったことがあると言う人も少なくないと思う。今回は国語科の武田先生に、海外旅行について、ご自分の体験談をお伺いした。

先生は三年程前に友人と香港へ旅行なさったそうだ。その後、一人で海外へ行ってみたいとお思いになり、二年前の夏、イギリスへ行かれた。イギリスを選んだ理由は、「一人旅でも安全だ、と聞いたから」とのこと。外国で一番問題なのは、やはり言語だろう。話す言葉を用意してある時はいいが、話しかけられた時、とっさに言葉が出てこない。そのため、朝ホテルの部屋を出るのに勇気を要した、とおっしゃっていた。

イギリス人は物静かでやさしく、道に迷った時など、本当に丁寧に道を教えて下さったそうだ。

武田昌代先生

日本人は、古い物より新しい物を好みがちだがイギリスでは、何世紀も前の建物を普通に使っていたりして、そこが気に入った、とおっしゃっていた。

その年の冬、以前いらした学校のアメリカ人講師の結婚式に招待されたため、アメリカに行かれた。アメリカでは、イギリスで知り合われた老夫婦の家に四泊、アメリカ人講師の家に四泊ホームステイされ、ナイアガラやボストンにも滞在された。

先生がアメリカに行かれたのは丁度、クリスマスシーズンでイルミネーションがとてもきれいだったとのこと。イルミネーションといっても、アメリカのそれは、日本のものと比較にならないくらい立派なものなのだそうだ。

先生が外国に行かれて思ったことは、「髪や瞳の色が違っても、形式は多少異なっても、生活の根本はみな同じだ」ということ。また、皆さんに「外国へ行く機会があったら、多くの国の首都だけを回るのではなく、一つの国をじっくりと、なるべく他人の手を借りずに自分の目で見て欲しい」とおっしゃった。東京の名所めぐりをしただけで、日本のことが分かるわけではないのと同じ。首都だけをかけ足で観光するなんてもったいない。自分自身で味わう人間同士のふれあいの中にこそ、旅をする意味があり、その価値があると思う。とおっしゃった。

他に行ってみたい所をお伺いしたところ、「イギリスには絶対もう一度行きたいし、時間的、金銭的な余裕があれば、どこにでも」とおっしゃった。

遠州灘

数先年の昔、輝かしい古代文明を生み出したナイル・チグリス・ユーフラテス川流域、インダス河口、黄河流域の四つの地域は、現在すべて砂漠や荒野に被われている。さらにその後多くの文明が花開いた。イラク・シリア・レバノン・ギリシャ・シチリア・メキシコ・ペルーなどがそうである。しかし、どこを訪ねても岩だらけの荒涼とした光景が目に映る。世界地図を広げると、それらの地域は砂漠化の危険が高かったり、或は極度に乾燥しているのである。

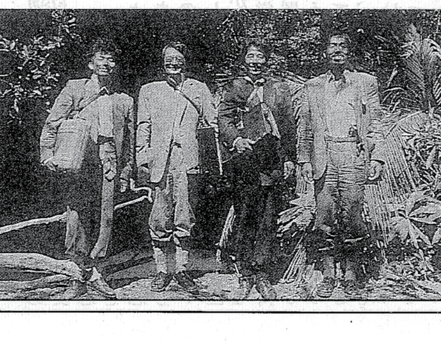
これらの古代文明の発祥地が、当時から砂漠だったわけではない。大河にそった、肥沃な地に発達した農業がその文明を支えていたのは言うまでもない。高度な技術に支えられた農業生産により、人口が増加し、富が蓄積され、文化が発達していったのだ。しかし、この古代文明が滅亡した時には、これらの肥沃な農地はほとんど姿を消していた。

そして現在、砂漠化が国際的な問題として認識されたのは、一九六八～七三年のサハラ砂漠南部のサヘル地方の干ばつだった。この時、サハラ砂漠は場所によっては一〇〇キロも南下し、数十万人以上の人と家畜の半数が死ぬ悲惨なものになった。

これはほんの一例でしかないが、現代文明の衰退の前兆なのだろうか。それとも……。

贈りものに
全国共通図書券
教科書・新刊書籍・雑誌
参考書・各専門図書・地図
文泉堂書店
〒430　浜松市連尺町314－1　TEL454－6358代表

志望校が母校になる。
代々木ゼミナール
浜松
〒430　浜松市大工町125　大発ビル
☎053(457)0111　0120-180280



僕らはみんな生きている
3月13日より上映
シネマウエスト

谷島屋書店
YAJIMAYA
本店　〒430　浜松市連尺町309-1　☎〈053〉453－9121(代)
リブレモール●鍛冶町モール街
松菱店●松菱デパート8階
遠鉄百貨店●5階
駅の谷島屋●コスタ内
メイワン店●砂山町
駅南店●領家町
なかざわ店●中沢町
毎日ボウル店●有玉南町
浜団地支店●遠州浜2丁目
浜松医大売店●半田町
聖隷病院売店●住吉●三方原

WHAT'S HIGH SCHOOL LIFE？

――平成四年度新入生意識調査分析――

本年度、本校は開校三十周年に当たり、全学年普通科となった。新聞部では、新入生の意識を分析し、南高生あるいは現代の高校生気質の一端に迫ってみた。

増加した無関心層

入学時に約五十六％の生徒が①「普通程度に勉強して部活動や自分の趣味を伸ばし、高校生活をできるだけ楽しみたい」と答えた（図2）。この結果は現在もあまり変わっていないようである。しかし、④「あまり感激や期待を持っていない」と答えた生徒が、入学時の三％に対し、現在は二十％近くにまで達している。なぜそのように答えたのか実際に聞いてみたところ、「現実とイメージのギャップの大きさ」からこのような結果を招いたようだ。具体的にあげてみると、

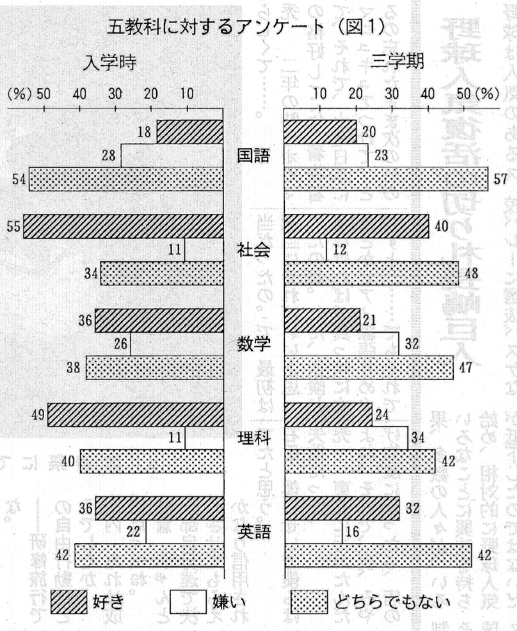
○予・復習が必要、など考えた事もなかった。

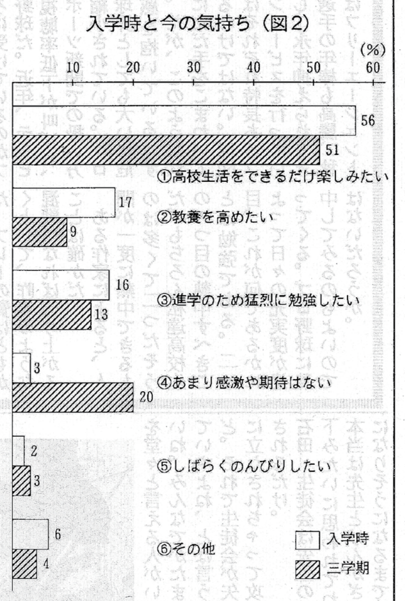
○高校受験が終わったばかりで、すぐ大学受験という目標を掲げられるとは思わなかった。

○部活動に打ち込められると思った。

などがある。本校はのびのびとして自由な高校というイメージが強く、実際そのつもりで本校へ入学した人も多いだろう。そのような人にとっては、入学後の現実は、確かに予想と異なるものとなっただろう。

全体的に見ると、前回よりも下がり減った分がほとんど④にまわったように思われる。


五教科に対するアンケート（図1）


入学時と今の気持ち（図2）

理系離れは勉強嫌い？

三学期の調査で、四月より「好き」が増えた教科は、体育、芸術科目を含め、ひとつもない（図1）。特に、理科、数学にいたっては「好き」が大幅に減少し、「嫌い」が増加している。二、三の生徒はこの理由として、「中学時代よりは専門的となった学習内容についていけない」ことをあげている。特に理科、数学においてそれを強く感じているのだろう。しかしこれは、家庭学習（特に予習）の不足によるものと言えなくもない。近年、本校で顕著である「理系離れ」は、実は「勉強嫌い」と比例しているのではないか。

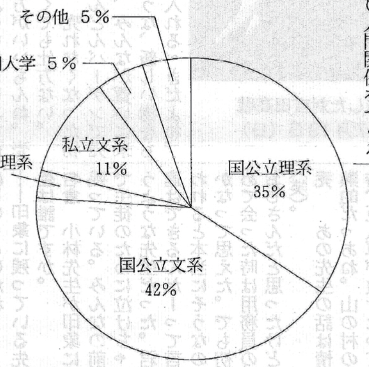
また、例年どおり「どちらでもない」が多い。「好き」でも「嫌い」でもないという、あいまいな回答ではあるが、これを軽視することはできない。「どちらでもない」とは関心がないとも取れるからである。当然、授業に対する取り組み方の甘さが指摘されるべきだろう。また、高校の場合、例えば社会や理科は、その教科の中に好きな分野もあれば、嫌いな分野もあるので、「どちらでもない」になったとも考えられる。

このように、調査からは生徒の無気力さが目立つ結果となったが、教科に対して「どちらでもない」気持ちを抱くことは、学習態度が生半可になりかねない。一教科でも「好き」あるいは得意な教科をつくることが大切だ。

矛盾する生徒の希望と現実

卒業後の進路については、四月にまだ未定であった生徒も、ほぼ決まったようである。現在、約九十％の生徒が四年制大学を希望していて、国公立大学に行きたいと答えた生徒は八十四％に及んだ（図3）。これは昨年、一昨年の希望者よりもはるかに多いものとなった。

文・理系別に見てみると、文系の上昇が目立つ。四月に四十％だった文系希望者は三学期の調査によると、六十％になっている。この結果は「教科に対するアンケート」の数学・理科嫌いにもつながるものだろう。


卒業後の進路希望（図3）

期待・関心・印象…

入学から十ケ月経った三学期。生徒は本校についてどんな期待や関心、あるいは印象を持っているのだろうか。まず良い点をあげてみると、

○良い人間関係をつくることができる。

○丁寧な授業である。

○のびのびとしている。

○"さざんろうど"のような進路に関する配布物をもっと出してほしい。

○明るく解放的な感じがある。

次に悪い点をあげてみると、

○テストが多すぎる。

○生徒の自主性を無視している。

○行事がつまらない。

○のんびりしている。

などがある。無関心な生徒が増加し、やる気をなくしている生徒が多い反面、前向きに取り組んでいる生徒も増えつつあるようだ。

調査方法

四月の調査は、本校研修課により実施された統計を使用し、三学期の調査は新聞部が実施したものである。

異文化体験報告

今回は平成元年から三年間、台湾の台北市に行っていた高羽将人君（15）に報告してもらった。台北市の乗合バスの乗車経験から、台湾の実情をみごとに垣間見せてくれた。

中正空港（台北市）にて（右端より、高羽君、お母さん、中央がお父さんと妹。その他は、現地の友人達）

僕は、公車（バス）の窓から見た台北が大好きだった。

海外にいたとはいえ、一日のほとんどを日本人学校で過ごす僕にとっては、公車の中が本当の台湾の姿を見ることができる場所でもあった。

あの頃の僕は、英語の塾へ通う為に週二回は、必ず公車に乗った。日本でも、最高水準とのうわさもある浜松のバスに乗り慣れていた我が家族にとって、台北の公車の洗礼は、とてもきつかったのを覚えている。

そう、初めて公車に乗ったのはたしか、今から約四年前の四月か、五月か。台湾に来て、約一ヶ月。やっと自宅（といっても、マンションだが）周辺の地理を分かりかけてきた頃だった。父が家族にこう言った。

「さあ、今日は、崇光百貨（そごうデパート）へ行くか。」もしかしたら僕の記憶違いかもしれないが、父は確かに言ったと思う。

「どうやって。」と恐る恐る父に聞いた中一の僕の顔が、目に浮かぶ。

「どうやってって。公車でに決っているじゃあないか。」僕は、父の冷酷無情な答えにがくぜんとした。冗談じゃあない。台北の公車のうわさは、できたばかりの友達、それに父と御主人が、同じ会社に勤めている隣のおばさんからも聞いている。その話を総合してみるとこうだ。

○時刻表がない。

○運転手には、せっかちな人が多いのか、運転がとても荒い。

○バス停で手を上げても乗せてくれない時もある。

などなど、悪いことばかり。しいて良い所を言えば、料金が安い（台北市内は、どこまで行っても百円）こと。

それでも父の意志は固く、僕ら家族（両親と僕と妹の四人）は、ちょっとした冒険へと出発した。

崇光は、僕らの住んでいる郊外の天母（ティエンム）と呼ばれている所から、約一時間半。台北でも、もっともにぎやかと言われている所の一つ、敦化北路（トンファーペールー）という所にある。

僕らは、台北名物の渋滞のために、立ったままで一時間半以上耐えた。

車内放送などはない。下車するには、窓からの眺めで判断する。公車内で居眠りをすると乗り過ごすこともしばしばだった。そして、公車の中には、これでもか、これでもかと言わんばかりに、人が入ってくる。市場帰りのおばさん。西瓜を二つも持って乗らないでほしい。満員の公車に、買って来た扇風機を二つも持ち込むすごいおじさん。運転手は乗客に運賃が一元だけ足らないと文句を言う。またある時は、隣に座って来たおじさんから、尋ねられた。「あのズボンは、わざと破ってあるのかい。」中國語で。ふと前を見ると、二人の女の人のジーパンにひざの辺りが破れている。「我不知道。」そんなことは知らない。僕はそのおじさんに、本人に聞いてみるようにすすめた。

自宅マンションからの台北市風景

このような普段と同じ車内の様子を尻目に帰国直前の僕は、窓から台北の街並を眺める。窓枠で仕切られた台北は、すべてが活気に満ちている。五人も乗っているバイク。湯気を立てて麺を売っている屋台。椰子の街路樹の透き間から見える、南国の青い空。でもこんな台北の姿も、公車に乗ることによって見知ったもの。でも僕は、三年間の長い長い公車旅行を終えた。

そして今。浜松のバスに乗る。きれいな車内。時刻表通りにバス停へ着くバス。スピード違反をしないバス。どんなに混んでいてもまさか、扇風機を持って乗る人もいない。湯気を立てる屋台も見えない。

今から、一年も前の台北での話しだ。

部活動報告

男子バレー県大会出場
男子ハンド清水東に惜敗
吹奏楽（クラリネット）県大会出場
陸上湖西駅伝総合高校三位

男子ハンドボール部は、県新人ハンドボール大会に出場した。一回戦は修善寺工業と対戦し、三十—二で下した。二回戦では沼津東と対戦し、十七—十で下した。準決勝では清水東と対戦し、十三—十四で惜敗した。

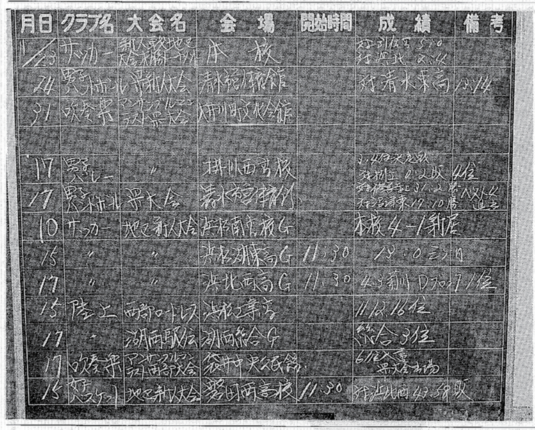
男子バレーボール部は、県高校バレーボール新人戦兼選抜西部予選に出場した。一回戦磐田南と対戦し、二—〇で下した。二回戦は常葉菊川、三回戦は湖西を、ともに二—〇で下した。準決勝は、浜松西に〇—二で敗れ、三位決定戦では掛川工業に〇—二で敗れたため、西部四位で県大会へ出場したが二回戦で下田北に〇—二で惜敗した。

吹奏楽部は、第二十六回全日本高等学校管打楽器アンサンブルコンテスト静岡西部大会に出場し、馬塚美恵（22）、鈴木美咲（24）、小笠原栄里（14）のフルート三重奏が五十七チーム中三十六位で銀賞を獲得した。また、竹内智美（22）、松野有希子（26）、浅井洋（14）、青木幸子（27）のクラリネット四重奏は、六位で金賞を獲得、県大会では、あまり思いどおりの演奏ができず、四十五チーム中三十一位で銅賞となった。

陸上部は、西部ロードレース大会に出場し、鈴木健太郎（10）が十一位、鈴木守広（16）が十二位、和久田宏記（17）三十七位という結果だった。また、湖西駅伝大会では、総合三位、高校三位という成績をおさめた。

サッカー部は聖隷学園、沼津学園、静岡東と練習試合を行った。聖隷学園とは二—二で引き分け。沼津学園とは二—〇で惜しくも敗れたが、静岡東には〇—一で勝利した。また、先月中旬に行われた新人西部大会予選リーグに出場し、三ケ日、常葉菊川を退け、決勝トーナメントに出場した。決勝トーナメントでは二回戦で浜松北に四—二で惜しくも敗れてしまったが、五～八位決定戦では聖隷学園に一—二で勝利した。しかし五位決定戦で磐田東に三—〇で惜しくも敗れてしまった。

女子バレーボール部は、練習試合を浜松商業高校にて行った。浜松東と対戦し、〇—四で敗れた。また、浜松商との対戦も〇—四で敗れた。新人戦では掛川西に〇—二で敗れてしまった。



校内トピックス

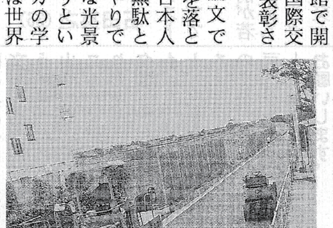
中尾知子（15）さんに優秀賞

県教委などが公募していた「青少年の考える国際化」作文・論文コンクールの入選者が一月二十一日に決まった。

県内の高校生を中心に百四十八点の応募があり、中尾知子さんを含む九人が優秀賞に、十人が奨励賞に選ばれた。二十三日に静岡市曲金の静岡産業館で開かれた「青少年国際交流大会」の席上、表彰された。

中尾さんは論文で「もしあの時原爆を落とさなかったら、日本人は女性も子供も無駄と知りながら、竹やりで戦い続け、悲惨な光景に陥ったであろうということをアメリカの学校で学び、日本は世界で唯一の被爆国として、被害の立場でしか考えていなかった私は、それを知った時大変ショックを受けた。自分の知識があまりにも偏っていたことが怖かった。このようなことから過去を正しく知ることの大切さを知った」と述べている。

念願の舗装ついに完成!!


最期の仕上げ中

第一体育館の東側の道路が、開校以来、初めて舗装された。

以前は、歩きにくい、走りにくい、雨が降ると、水たまりだらけになり、夏は、草がのび放題で、見るからに田舎道であった。

日本も経済大国となり、浜松の中心街は変貌しつつある。南高周辺も、そのような道が増えつつあるが、なぜあの道だけが昔のまま取り残されていたのだろうか？

次は、北高、西高、市立のように校舎を改築してほしい。

編集後記

三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。長いと思っていた三年間もあっという間だったのではないでしょうか。今回も例年通り三年生の座談会を開きました。改善点や意見などいろいろ出たものの、どの先輩も南高での生活を楽しんでいたようです。やはり、振り返った[illegible]高は楽しかった、といえるような学校生活を送れるのが一番いいのではないでしょうか。取材に協力してくださった先輩方、ありがとうございました。（E）

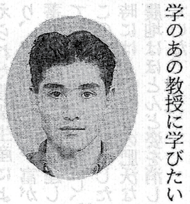
インフルエンザ[illegible]を振るった冬が終[illegible]としている今、早[illegible]粉シーズンが始ま[illegible]ます。花粉シーズ[illegible]

[illegible]（Y）

[illegible]（M）

大学リポート

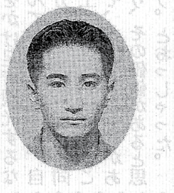
目標設定を早めに


法政大学経営学部三年　樋田陽亮

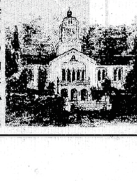
今、皆さんは大学受験を控え受験勉強の真只中だと思います[illegible]

[illegible]

偉大なる無駄


都留文化大学文学部三年　中村真吾

ある人がこのようなことを言っていた。[illegible]

[illegible]